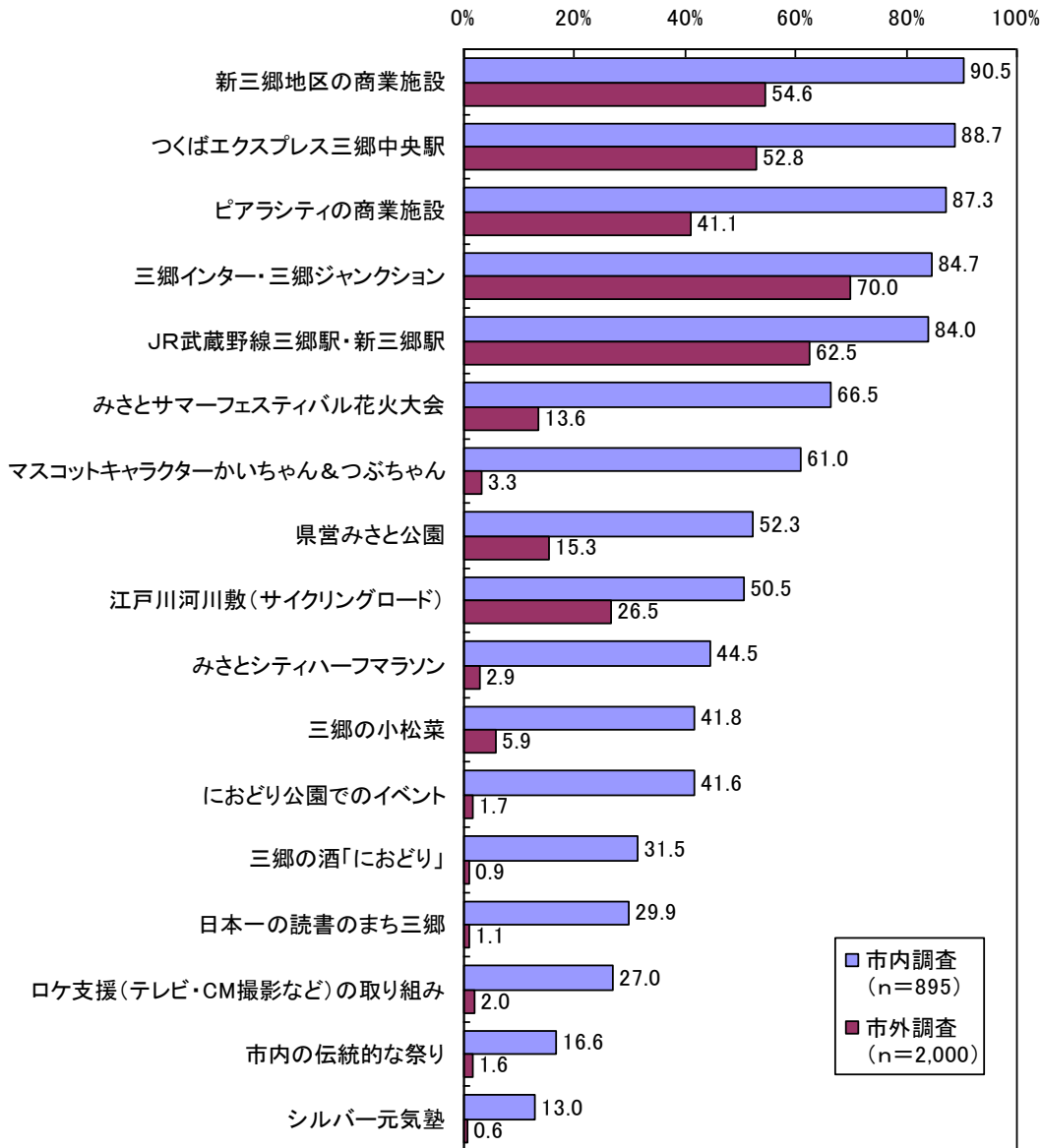


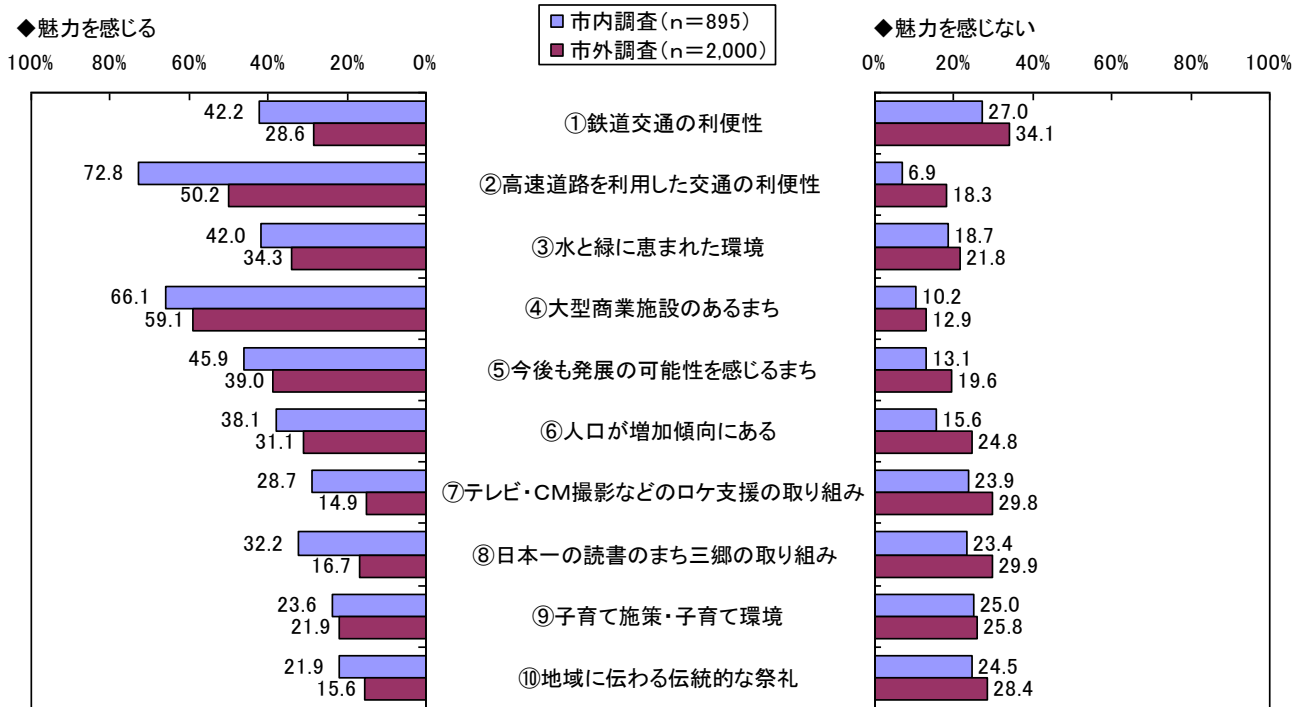
(1) 三郷市の特徴的な事物



三郷市の特徴的な事物の認知状況について市内・市外調査を比較すると、いずれも上位5位は同じ項目だが、市内調査で1位の「新三郷地区の商業施設」及び2位の「つくばエクスプレス三郷中央駅」は市外調査と比べ35.9ポイント、3位の「ピアラシティの商業施設」は46.2ポイントと認知状況に大きく差がついている。一方、4位の「三郷インター・三郷ジャンクション」は14.7ポイント、5位の「JR武蔵野線三郷駅・新三郷駅」は21.5ポイントと市外調査とのギャップは比較的小さくなっている。

その他の項目では、「みさとサマーフェスティバル花火大会」や「マスコットキャラクターかいちゃん&つぶちゃん」の認知状況に市内外で50ポイント以上の大きな差があるのに対し、「江戸川河川敷(サイクリングロード)」は24.0ポイントと差は小さくなっている。

(3) 三郷市の魅力



上記の三郷市の10の特徴について魅力を感じるかの市内・市外調査を比較するとすべての項目で「魅力を感じる」割合は市内調査が市外調査を上回っており、特に②高速道路を利用した交通の利便性が22.6ポイント、①鉄道交通の利便性が13.6ポイント、⑧日本一の読書のまち三郷の取り組みが15.5ポイント、⑦テレビ・CM撮影などのロケ支援の取り組みが13.8ポイントと10ポイント以上の差があり、交通インフラと市の取り組みに関して三郷市民は市外の人よりも魅力に感じていることがわかる。

一方で「魅力を感じない」割合では、②高速道路を利用した交通の利便性が11.4ポイント、⑥人口が増加傾向にあるが9.2ポイントと、10ポイント前後の差で市外調査の割合が市内調査より高くなっている。